

## 5章2節7 世界史 B ①「ヨーロッパ世界の拡大」

坂田匡史

教科：[ 地理歴史 ] / 科目名：[ 世界史 B ] / [ 2 ] 学年対象・[ 3 ] 単位	
出題する考査	[ 1 ] 学期 [ 中間 ] 考査
該当する单元等	ヨーロッパ世界の拡大
出題意図 (レベル)	問1 航海者とその業績について理解している。(I) 問2 大航海時代が始まった背景を多面的・多角的に理解している。(C) 問3 世界の一体化のはじまりについて理解している。(E)
【I】問1 大航海時代に関して述べた次のア～エの文章のうち、正しいものを1つ選びなさい。 ア バルボアはパナマ地峡を横断して太平洋に到達した。 イ カボットはスペイン王の支援を得て北米を探検した。 ウ カブラルは南米に漂着して、ここをイギリス領と宣言した。 エ ピサロはアステカ王国を滅ぼした。	
【C】問2 大航海時代はなぜ始まったか、次の条件を満たすように180字以上200字以内で論じなさい。 〔条件〕1 政治的背景・経済的要因・技術的要因・宗教的動機などの3つ以上の観点を盛り込むこと。 2 以下の指定語句の語群から4つ以上使用すること。 ジェノヴァ レコンキスタ 肉食 マルコ=ポーロ オスマン帝国 快速帆船 中央集権 新航路	
【E】問3 ポルトガルやスペインの新航路の開拓は、世界の一体化にどの程度影響を与えたか、次の4つの観点より1つを選び、歴史的事象を根拠に示しつつ論じなさい。 (1)大いに影響を与えた。 (2)ある程度影響を与えた。 (3)多少影響を与えた。 (4)あまり影響を与えていない。	
採点基準 (配点)	問1 (2点) : 航海者とその業績について正しく理解している。 問2 (4点) : 3つ以上の観点をを用いて多面的・多角的に記述している。 問3 (4点) : 近代世界システム論にふれつつ、諸世界の動向も含めて、歴史的事象を根拠に判断し、自分の考えを記述している。
備考	※これから一年間世界史Bを学ぶにあたって、歴史的な根拠に基づいて判断することを身に付けてもらうための出題となっている。